

onetone[®]

OTDD-100




DIGITAL DRUM


取扱説明書


安全上のご注意


組み立て、ご使用前に必ず下記注意事項をよくお読みいただけますようお願いいたします。


■ 電源アダプター

 電源アダプターは必ず付属の専用アダプターを使用してください。
指定品以外のアダプターを使用した場合、予期せぬ不具合が起きたり、発熱などにより火災や感電の原因となる恐れがあります。


 電源アダプターは AC100V で使用してください。
AC100V 以外での使用は発熱により火災や感電の原因となる恐れがあります。

 電源コードを無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。
電源コードに負荷がかかると故障の原因となる場合があります。また、重いものを乗せたり、熱源の近くでの使用しないでください。

 煙や臭いなど、異常に気づいた場合。
火災や感電、故障の恐れがありますので、本体の電源を切り、電源アダプターをコンセントから抜き、直ちに使用を中止し、カスタマーサポートまでお問い合わせください。


 長時間使用しない時や落雷の恐れがある場合は、電源アダプターをコンセントから抜いてください。
火災や感電、故障の恐れがあります。


■ 設置


 設置場所、保管場所にご注意ください。
本製品を以下のような場所に設置、保管しないでください。

- ・高温、多湿な場所
- ・野外などの雨に濡れる場所
- ・暖房器具の近くや炎天下の車中など、温度が高くなる場所
- ・凹凸がある不安定な場所


上記以外にも、本製品や周りの環境へ支障をきたす恐れがある場所には設置、保管をしないでください。


 本製品に付いているゴム足について
本製品のスタンドや付属のペダルなどにはゴム素材の滑り止めが取り付けられています。設置面の素材や塗料などと反応して変色したりする恐れがあります。

 本製品に重い物を乗せないでください。
破損したり、物が落ちてケガをする恐れがあります。


 小さな部品はお子様の手の届かない場所で保管してください。
付属のドラムキーなど、誤飲の可能性があるパーツ類の保管場所にご注意ください。

■ 湿気、水分に注意


 本体の上に液体が入ったものを置かない、浴室や雨にぬれるなど多湿な場所で使用しないでください。
本体内部に水が入ってしまった場合は、本体の電源を切り、電源アダプターをコンセントから抜き、直ちに使用を中止し、カスタマーサポートまでお問い合わせください。

 濡れた手で電源アダプターに触れないでください。
感電の原因となる恐れがあります。


■ 分解・改造はしない

 製品の分解・改造はしないでください。
分解、改造をおこなった場合、感電、火災、けが、破損や故障の原因となる恐れがあります。


■ お手入れ

 本体のお手入れは乾いた柔らかい布、または水を絞った布を使用してください。
シンナーやベンジン、洗剤などのクリーナー材は使用しないでください。水を絞った布を使用する場合は、音源モジュール以外のパッド類のみに使用し、水分が残らないよう必ず拭き取ってください。

■ 火気厳禁

 本体の上にロウソクなど火気のあるものを置いたり、近付けないようにしてください。
火災の原因となる恐れがあります。

■ 落下などの破損

 破損した状態で使用しないでください。
音源モジュールやスタンドパーツなど破損した状態で使用した場合、パーツの一部が落下してけがをしたり、火災や感電の原因となる恐れがあります。

目次

| | |
|------------------------|----|
| 安全上のご注意 | 2 |
| 機能紹介 | 4 |
| 主な特徴 | 4 |
| 組み立て方 1-3 | 5 |
| 01 ドラムスローンの組み立て | 5 |
| 組み立て方 2-3 | 6 |
| 02 タムパッドの取り付け | 6 |
| 03 支柱・アームの取り付け | 6 |
| 04 シンバル・シンバルアームの取り付け | 6 |
| 組み立て方 3-3 | 7 |
| 05 ドラムパッドと音源モジュールの取り付け | 7 |
| 06 コネクションケーブルと各パッドの接続 | 7 |
| 音源モジュール接続端子 | 8 |
| 操作方法 | 9 |
| 操作方法 1-5 | 9 |
| VOLUME(ボリューム) レベルの調整 | 9 |
| ドラムキットの選択 | 9 |
| 操作方法 2-5 | 10 |
| 操作方法 3-5 | 11 |
| メトロノーム・クリックの操作 | 11 |
| コーチモードの操作 | 11 |
| 操作方法 4-5 | 12 |
| 操作方法 5-5 | 12 |
| レコーディング・再生機能 | 13 |
| 設定の保存・リセット(工場出荷時状態) | 13 |
| キットリスト | 14 |
| SPEC | 14 |
| 保証規定 / 保証書 | 15 |

機能紹介

この度は、onetone デジタルドラムをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

OTDD-100 はリアルな打感と消音性を両立したメッシュパッドを採用、スネアドラムはエッジのラバー部も感知するダブルトリガー仕様で、より本格的なドラムプレイを楽しみたい方に最適なデジタルドラムです。レコーディング機能や3種類のリズムキープトレーニングができるコーチモードなど、演奏が上手くなるためのアシスト機能も備えています。また、パソコンなどとUSBケーブル(別売り)で接続することで、任意のDAWソフトウェアのMIDIデバイスとして使用することも可能です。



主な特徴

- スネアとタムパッドはリアルな打感と静かな打音を追求した6段階ベロシティ仕様のメッシュパッドを採用。
- 8インチサイズのスネア、ダブルトリガー仕様でよりリアルなプレイを再現可能。
- ロック、ポップスなど様々なジャンルに対応した15ドラムキット、計165ボイスをプリセット。
- メトロノーム機能搭載。(30~250拍/分、メトロノームカウント1~9)
- 12曲のデモソングを搭載。ドラムパートのみミュートできるマイナスワン機能で、メロディーに合わせてプレイを楽しめます。
- プレイスタイルに合わせて、各ドラムパッドの感度パラメーター調整が可能。
- 変更したパラメーターの保存、リセットが可能。
- パソコンなどとUSBケーブル(別売り)で接続することで、任意のDAWソフトウェアのMIDIデバイスとして使用可能。
- オプションでシンバルパッドを1枚拡張可能。別売りのバスドラムパッドにも対応。
- ドラムスティックホルダー付属。

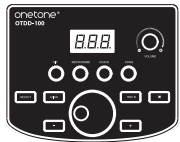
MEMO

本製品は電子楽器製品であるため、ヘッドフォンや接続した外部スピーカーから微量のノイズが発生することがありますが、仕様です。ノイズが大きい場合はエアコンやその他家電製品から本機またはスピーカーの設置場所を離したり、電波の干渉源となりそうな機器を遠ざけてください。

組み立て方 1-3

同梱物のご確認

本製品を組み立てる前に全ての箱の中身を開封し、必要なパーツが全て揃っていることを確認してください。



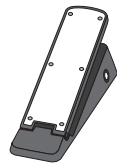
音源モジュール



モジュール
ブラケット



シンバルパッド × 3



ハイハット/
バスドラム用ペダル × 2



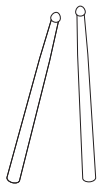
スネアパッド



タムパッド × 3



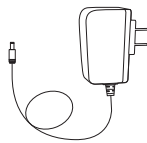
ドラムキー



ドラムスティック



接続ケーブル



電源アダプター



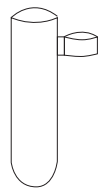
クラッシュ・ライド用
シンバルアーム × 2



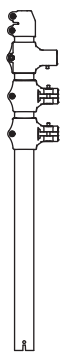
ハイハット用
シンバルアーム



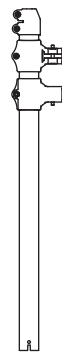
面ファスナー × 5



ドラムスティック
ホルダー



A



B



C



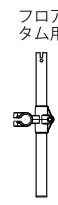
C



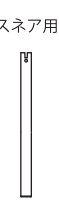
D



E



F



G



ドラムスローン
(組立式)

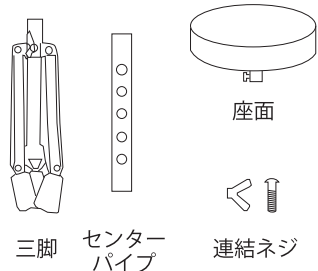


ヘッドフォン

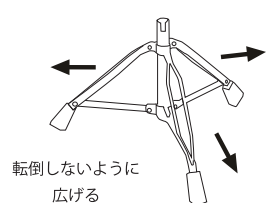
01 ドラムスローンの組み立て

- ① ドラムスローンは4種類のパーツで構成されています。全てのパーツが揃っているか確認してください。
- ② 三脚の支え部分を広げます。
- ③ センターパイプを三脚に取り付けます。
センターパイプの穴に連結ネジを通し、三脚の溝とネジがしっかりと噛み合っていることを確認してから、蝶ナットでしっかりと締めて固定します。
- ④ 座面をセンターパイプに取り付けて、座面についている蝶ネジを締めて完成です。

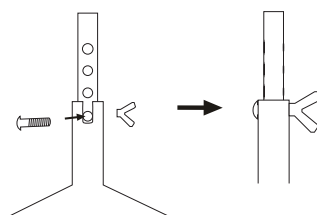
①



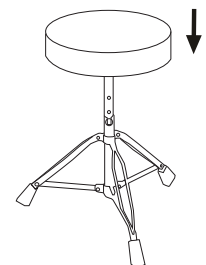
②



③

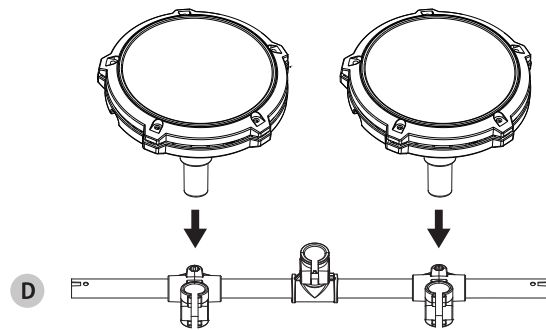


④



02 タムパッドの取り付け

タムパッドをミドルアームの左側と右側のホルダークランプに取り付けます。



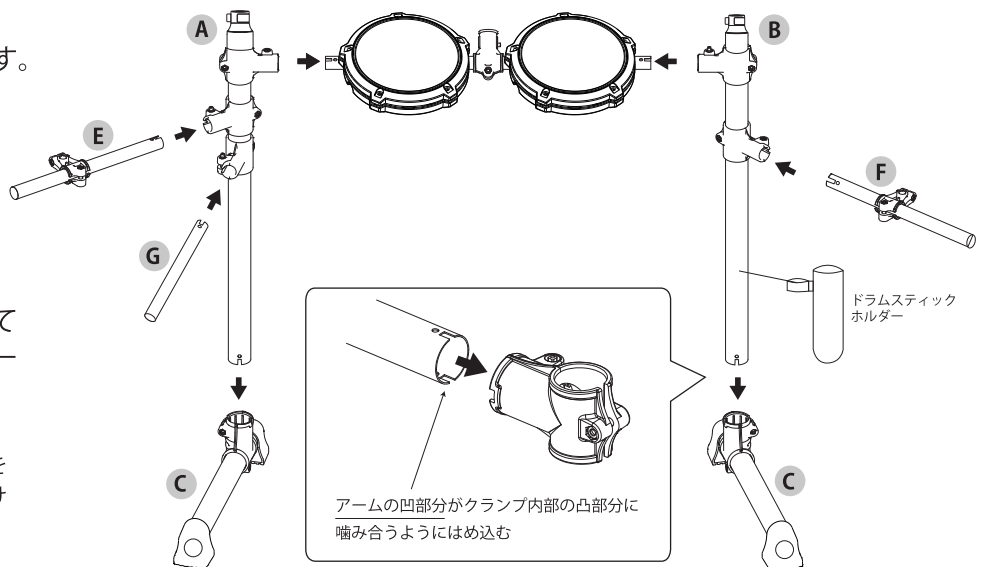
03 支柱・アームの取り付け

各アームを対応するホルダークランプのネジをドラムキーで緩め、アームをさし込みます。

アームをさし込む際に先端の凹部分と、ホルダークランプ内の凸部分が噛み合うようにさし込んでください。

奥までしっかりと差し込まれていることを確認し、ドラムキーでネジを締め上げます。

※ドラムスティックホルダーは支柱をボトムアームにさし込む前に取り付けてください。



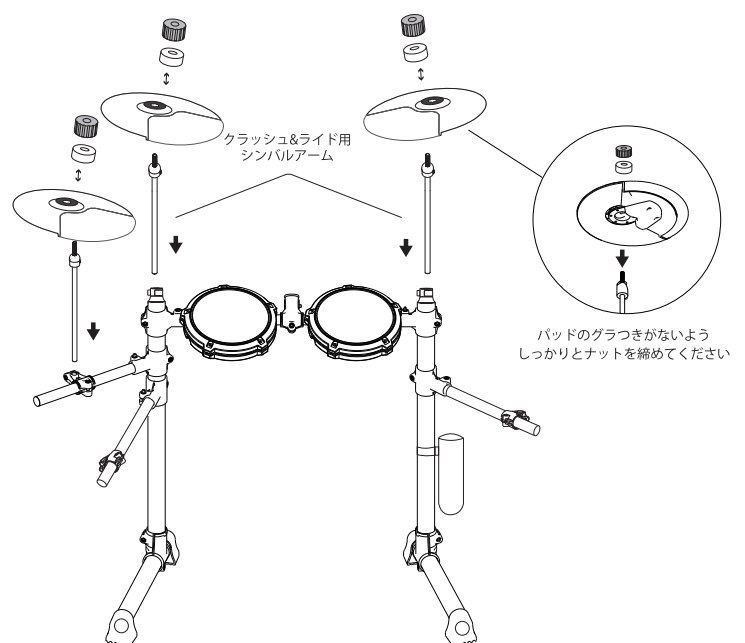
04 シンバル、シンバルアームの取り付け

クラッシュ・ライド・ハイハット用のシンバルアームには、それぞれフェルトとナットが予め取り付けられています。

各アームの対応するホルダークランプのネジをドラムキーで緩め、シンバルアームをさし込み、ネジを締めます。

アームのフェルトとワッシャーを外し、シンバルパッドの凹みとアーム先端の凸部分が合わさるように取り付けてください。シンバルパッドがグラつかないように、しっかり固定してください。

※パッドがグラついた状態で叩き続けると、アームやパッドが破損しやすくなりますのでご注意ください。
※パッドとアームの凹凸がしっかり合わさった状態で取り付けられていないと、演奏中にパッドが回転し、ネジの緩みやパーツの破損の原因となる場合があります。

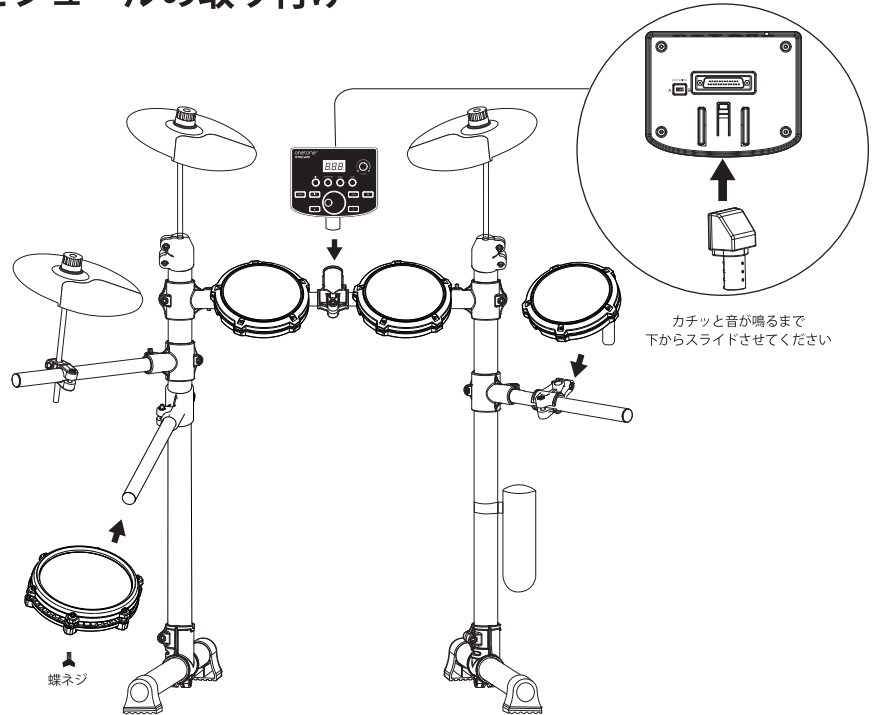


05 ドラムパッドと音源モジュールの取り付け

音源モジュールにモジュール
ブラケットを取り付けて、
ミドルアームの中央のホルダー
クランプのネジをドラムキーで緩め、
音源モジュールを取り付けて
ネジを締めて固定します。

フロアタム用ホルダークランプの
ネジをドラムキーで緩め、パッド
を取り付けてネジを締めて固定
します。

スネアドラムは裏面の接続部分を
アームに挿入し、蝶ネジで締めて
固定します。

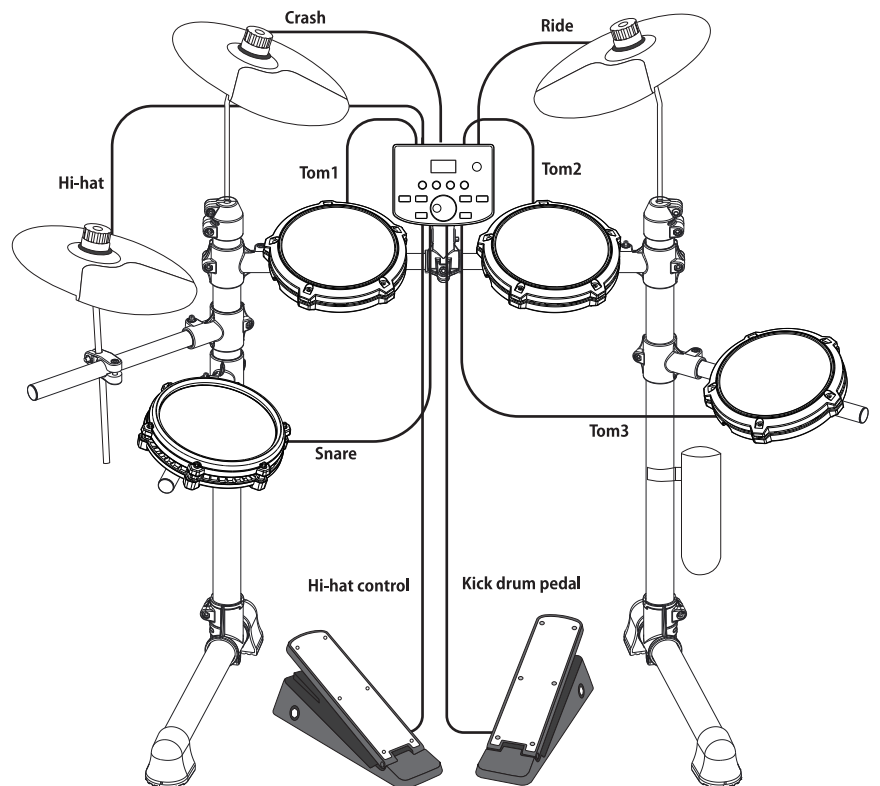
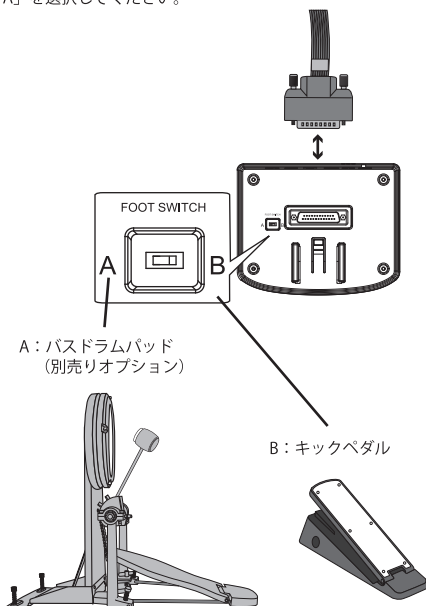


06 コネクションケーブルと各パッドの接続

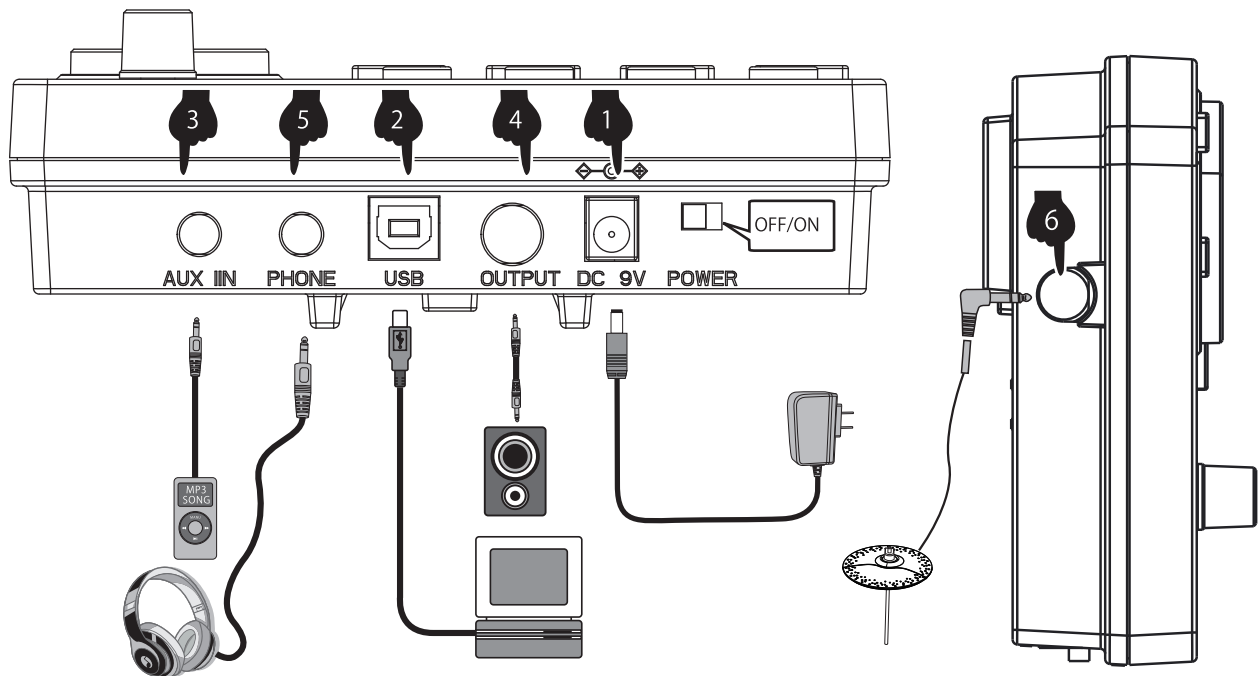
音源モジュールの背面に接続ケーブルのコネクターをさし込み、両側の固定ネジを締めます。ケーブルのプラグ付近に付いているタグに接続先のパーツ名が記載されていますので、下図を参照して各ケーブルジャックに接続してください。

■キックペダルについて

音源モジュールの背面には切替えスイッチがあります。標準で付属しているスイッチ式のキックペダルを使用する場合はデフォルトの「B」を選択してください。オプション（別売り）のバスドラムパッドを使用する際は、「A」を選択してください。



音源モジュール接続端子



1 電源アダプターの接続

付属のアダプターを接続します。付属品以外の汎用アダプターは絶対に使用しないでください。長時間使用しない時はコネクターからアダプターを外してください。

2 USB MIDI ケーブルの接続

USBケーブル経由でMIDI信号の送受信が可能です。市販のUSBケーブルにてPCまたはMac等の対応するUSBポートへ接続することで、任意のDAWソフトウェアのMIDIデバイスとして使用できます。または、MIDI デバイスを供給できるゲームや、電子ドラムソフトウェアと接続します。

3 AUX IN オーディオ接続

MP3プレーヤーやCDプレーヤーなどの外部音源機器を接続します。入力された音はアウトプット、ヘッドフォンから出力されます。AUX INの音量調整は、接続しているプレーヤー側で操作をおこなってください。

4 スピーカーの接続

市販の楽器用アンプやオーディオスピーカーを接続します。

5 ヘッドフォンの接続

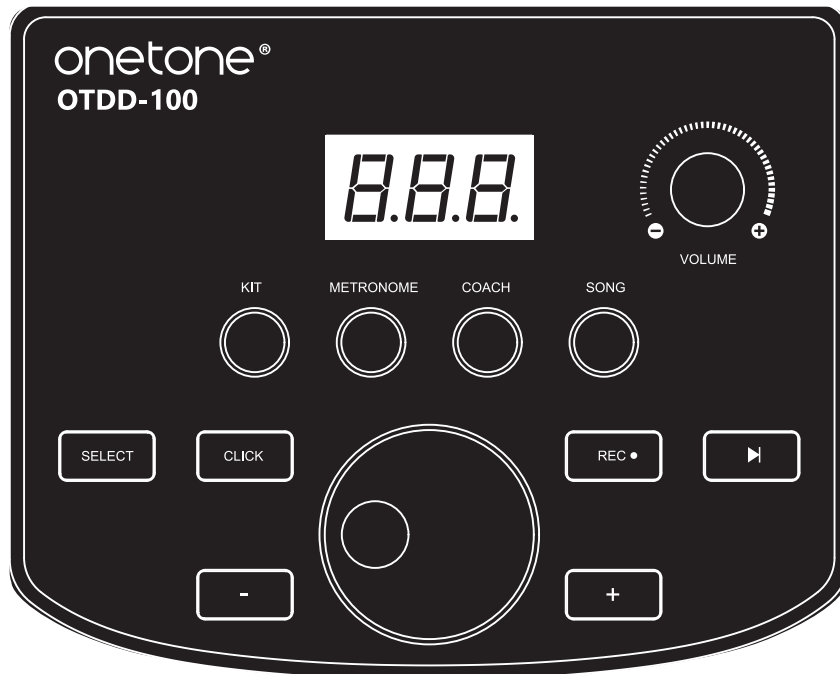
ヘッドフォンを接続します。ヘッドフォンを接続しても、アウトプットからの出力はミュートされません。

6 オプションシンバルの接続

別売りオプションのシンバルパッドを接続します。

MEMO

- 電源のオン・オフをおこなう際は、必ず各ボリュームが最小になっていることを確認してください。
- ヘッドフォンを使用する際、長時間の使用や大音量でプレイするなど、難聴になり得る行為にご注意ください。



1 VOLUME (ボリューム)レベルの調整

「VOLUME」つまみを回して音量調整をおこないます。時計回りに回すと音量が大きくなります。

2 ドラムキットの選択

電源をオンにするとスタートはドラムキットメニュー「KIT」が選択された状態になります。ドラムキットの変更やパラメーターを調整する場合は以下の操作をおこなってください。



1. 「KIT」ボタンを押して、ドラムキットモードにします。ナンバーディスプレイに現在選択されているキットが表示されます。(初期値は01)
2. ジョグダイヤルまたは【-/+】ボタンでキットの選択が可能です。(01~15)
3. 「SELECT」ボタンを押すと、ドラムキットのパラメーター調整が可能です。【-/+】ボタンで以下のパラメーターメニューを選択し、ダイヤル操作で値を変更できます。

※パラメーターの変更後は設定を保存しておくことを推奨します。

参考：【7】設定の保存・リセット(工場出荷時状態)

MEMO

・3つのTOMパッド(TOM 1、TOM 2、TOM 3)のパラメーターは全て共通になっており、個別のパラメーター変更はできません。

操作方法 2-5

S(センシティブティ): パッドの感度調整をおこないます。パラメーター S01~S06



ナンバーディスプレイ表示例

1. 感度を調整したいパッドを1度叩いてください。
2. ダイアル操作でパラメーターを、01~06のいずれかに設定します。
数値が小さいほど感度が高く、大きいほど感度が低くなります。
3. 別のパッドを調整する場合は、続けて対象となるパッドを叩いて変更してください。

T(スレッシュホールド): コンプレッションのかかり具合を調整します。パラメーター T01~T32



ナンバーディスプレイ表示例

1. スレッシュホールド値を調整したいパッドを1度叩いてください。
2. ダイアル操作でパラメーターを、01~32のいずれかに設定します。
数値が大きいほどコンプレッションのかかり具合が強くなります。
3. 別のパッドを調整する場合は、続けて対象となるパッドを叩いて変更してください。

C(クロストーク): クロストーク値の調整をおこないます。パラメーター C01~C32



ナンバーディスプレイ表示例

1. クロストーク値を調整したいパッドを1度叩いてください。
2. ダイアル操作でパラメーターを、01~32のいずれかに設定します。
3. 別のパッドを調整する場合は、続けて対象となるパッドを叩いて変更してください。

MEMO

クロストークとは、パッドを叩いた振動を他のパッドが感知してしまい、本来叩いていないはずのパッド音が鳴ってしまう現象のことを言います。クロストーク値を大きくすることでこの現象を回避しやすくなりますが、同時にパッドを叩いた場合に片方のパッド音が鳴らない現象が起きやすくなります。センシティブなパラメーターのため、各パッドのクロストーク値のバランスに注意して調整をおこなってください。

R(リピート): 連打時の発音間隔の調整をおこないます。パラメーター R01~R32



ナンバーディスプレイ表示例

1. リピート値を調整したいパッドを1度叩いてください。
2. ダイアル操作でパラメーターを、01~32のいずれかに設定します。
数値が大きくなればなるほど連打時の発音間隔が長くなります。
3. 別のパッドを調整する場合は、続けて対象となるパッドを叩いて変更してください。

V(ドラムフォース): 強打時の出力レベル調整をおこないます。パラメーター V01~V03



ナンバーディスプレイ表示例

1. リピート値を調整したいパッドを1度叩いてください。
2. ダイアル操作でパラメーターを、01~03のいずれかに設定します。
数値が大きくなればなるほど強打したときの出力レベルが上がります。
3. 別のパッドを調整する場合は、続けて対象となるパッドを叩いて変更してください。

MEMO

元々のボイスの出力に差があるため、変化が大きいボイスとほとんど変化が感じられないボイスがあります。

L(ボリュームレベル): 各パッドの音量調整をおこないます。パラメーター L00~L31



ナンバーディスプレイ表示例

1. 音量調整したいパッドを1度叩いてください。
2. ダイアル操作でパラメーターを、00~31のいずれかに設定します。
数値が大きくなればなるほど音量が大きくなります。
3. 別のパッドを調整する場合は、続けて対象となるパッドを叩いて変更してください。

操作方法 3-5

3 メトロノーム・クリックの操作

「CLICK」ボタンを押してメトロノームを再生します。もう一度押すと停止します。
メトロノームのパラメーターを調整する場合は以下の操作をおこなってください。

1. 「METRONOME」ボタンを押して、メトロノームモードにします。ナンバーディスプレイに現在のテンポが表示されます。(初期値は120)
2. ダイヤル操作を回してテンポの調整が可能です。(30～250)
3. 「SELECT」ボタンを押すと、メトロノームのパラメーター調整が可能です。【-/+】ボタンで以下のパラメーターメニューを選択し、ダイヤル操作で値を変更できます。

・ビートタイプ



ビートタイプ（音符）をダイヤル操作で選択します。
選択項目：2, 4, 8, 16

・拍子選択



拍子をダイヤル操作で選択します。
選択項目：1～9

・クリック音量調整



クリックの音量をダイヤル操作で選択します。
選択項目：00～31

4 コーチモードの操作

コーチモードは3つのトレーニングメニューでドラムプレイの上達を志すプレイヤーをサポートします。
トレーニングメニューを選択してトライしましょう！

MEMO

トレーニングC-1、C-2を始める前にメトロノームのテンポ調整が可能です。参照：【3.メトロノーム・クリックの操作】

・【C-1】リズムキープトレーニング1(得点表示あり)



クリック音のタイミングに合わせ、一定のリズムでパッドを叩きます。正確にリズムキープして高得点を目指しましょう。

1. 「COACH」ボタンを押して、ダイヤル操作でリズムキープトレーニング1(C-1)を選択します。
2. 「SELECT」ボタンを押して繰り返しトレーニングをおこなう回数(01～32)を設定します。
3. 「CLICK」ボタンを押してトレーニングをスタートします。マイナス4カウント後にスタートしますので、クリック音のタイミングに合わせてパッドを叩いてください。ナンバーディスプレイに叩くタイミングに応じて以下の状態が表示されます。



叩くタイミングが遅れている場合



ジャストタイミングで叩けている場合



叩くタイミングが早い場合

操作方法 4-5

4. トレーニングが終了すると、ナンバーディスプレイに得点が表示されます。(00~100)

※トレーニングを途中で終了したい場合は「CLICK」ボタンを押してください。

・【C-2】リズムキープトレーニング2(得点表示あり)



テンポのリズムを覚えて、クリック音なしの状態再現するトレーニングです。
リズムキープトレーニング1よりも難易度が上がります。

1. 「COACH」ボタンを押して、ダイヤル操作でリズムキープトレーニング2(C-2)を選択します。
2. 「SELECT」ボタンを押して繰り返しトレーニングをおこなう回数(04~32)を設定します。
3. 「CLICK」ボタンを押してトレーニングをスタートします。クリック音(4回)を確認した後、次の4カウントはクリック音が消えますので、同じタイミングで4回叩いた後、得点が表示されます。(00~100)
クリック音→プレイ→採点を選んだ回数分おこなうか、「CLICK」ボタンを押すとトレーニングが終了します。

・【C-3】リズムキープトレーニング3(得点表示なし)



テンポ速度が自動で変化するクリック音に合わせて叩くトレーニングです。
リズムキープの正確性と持久力を高めます。

1. 「COACH」ボタンを押して、ダイヤル操作でリズムキープトレーニング3(C-3)を選択します。
2. 「SELECT」ボタンを押してクリック音の可変速度(01~09)を設定します。
3. 「CLICK」ボタンを押してトレーニングをスタートします。テンポが自動で変化しますので、クリック音に合わせて叩いてください。このトレーニングは採点はなく、終了する場合は「CLICK」ボタンを押してください。

5 デモソング

本モデルにはロック、ポップス、ジャズなどさまざまなジャンルのデモソングが12曲収録されています。
また、メロディーパートのみを残してドラム音をミュートし、セッションプレイを楽しめます。

1. 「SONG」ボタンを押してデモソングモードにします。ナンバーディスプレイに現在選択されているデモソングナンバーが表示されます。
2. ダイヤル操作または【-/+] ボタンで再生するデモソングを選択します。(01~12)
3. 【▶|】ボタンを押してデモソングを再生します。もう一度ボタンを押すと停止します。
4. デモソングモード中に「SELECT」ボタンを押して、ドラムパートのオン/オフの選択が可能です。デフォルトはオンになっていますので、ダイヤル操作で切り替えてください。

操作方法 5-5

6 レコーディング・再生機能

ドラムプレイをレコーディングし、再生することができます。

レコーディング中はメトロノームが作動しますので、レコーディングを始める前にメトロノーム調整を事前におこなってください。参照：【3.メトロノーム・クリックの操作】

1. 【REC・】 ボタンを押すと、レコーディングスタンバイ状態になります。



ナンバーディスプレイが点滅します

2. ドラムパッドを叩くとレコーディングが自動でスタートします。同時にメトロノームが設定されたテンポでスタートします。※メトロノーム音はレコーディングされません。

MEMO

レコーディング中のメトロノームのテンポ、音のオンオフなどの操作はできません。



レコーディング中点滅

3. 【REC・】 ボタンまたは【▶|】 ボタンを押してレコーディングを終了します。
または1000打の録音で自動的にレコーディングが終了します。



レコーディング終了時

4. 【▶|】 ボタンを押してレコーディングした楽曲を再生します。
もう一度ボタンを押すと停止します。



レコーディング再生中

MEMO

レコーディング後、同様の手順でデータの上書きが可能です。レコーディングした楽曲は電源をオフにするとデータが消去されます。

7 設定の保存・リセット(工場出荷時状態)

キットやメトロノームなど一部機能を変更した状態を保存することができます。電源を切ったあと、改めて同じ設定をし直す必要がなく、いつでもお気に入りの状態で演奏できます。

保存できる設定は以下の数値のみです。

- ・ドラムキットの各種パラメーター
- ・メトロノームのテンポ以外のパラメーター
- ・コーチモードのトレーニング回数や可変速度

※**全ての設定変更後、【-】 ボタンを2秒ほど長押しして、変更内容を保存してください。**

ナンバーディスプレイに「SAV」と表示されれば設定保存が完了します。

保存された設定は電源をオフにしても残りますが、保存を行わずに電源をオフにした場合、変更内容は反映されませんのでご注意ください。

設定をリセット(工場出荷時の状態)したい場合は、**【+】 ボタンを2秒以上長押ししてください。**

ナンバーディスプレイに「RES」と表示されたらリセット完了です。



設定保存完了表示



設定リセット完了表示

キットリスト

| | | | | |
|-------------|---------------|---------------|------------|--------------|
| 01 Funk | 04 Rock | 07 ClassicDry | 10 Blues | 13 Dancehall |
| 02 Original | 05 Session | 08 Modern | 11 Popular | 14 Synthgaze |
| 03 Poprock | 06 SpeedMetal | 09 Jazz | 12 Fuse | 15 Standard |

SPEC

| | | |
|----------|---|--|
| キット数 | : | 15 |
| ボイス数 | : | 165 |
| メトロノーム | : | 30~250 |
| クリック | : | 1~9 |
| デモソング | : | 12 |
| トレーニング | : | 3種類 |
| コントロール | : | VOLUME/KIT/METORONOME/COACH/SONG/SELECT/CLICK/REC/▶ /ダイヤル-/+/+ |
| 接続 | : | DC 9V / USB / PHONE (1/4 ステレオプラグ) / OUT PUT (ミニステレオプラグ) / AUX IN (ミニステレオプラグ) |
| 拡張・オプション | : | 拡張：クラッシュパッド1枚 オプション：バスドラムパッド (拡張オプション品は全て別売りです) |
| 電源 | : | 専用アダプター (9V) |
| 付属品 | : | ドラムスローン、ドラムスティック、ドラムスティックホルダー、ドラムキー、専用アダプター、マニュアル(本紙) |

※予告なく製品の用途は同じでも、外観や仕様が変更になる場合があります。

■ 保証規定 / 保証書

本保証は、保証期間中に本製品を保証するもので、消耗品または一部付属パーツ(各種パッドやネジなど)は保証の対象になりません。保証期間内に本製品の保証該当箇所が故障した場合は、保証規定に基づいて無償修理いたします。

- 1.本保証書の有効期間はご購入日より1ヵ年です。
- 2.次の修理等は保証期間内であっても有料となります。

- ・消耗部品の交換。
- ・天災(地震、火災、浸水等)によって生じた故障。
- ・お取り扱い方法が不適当のために生じた故障。
- ・故障の原因が本製品以外の製品に該当する場合。
- ・改造、パーツ交換などにより生じた故障または損傷。
- ・保証書にお買い上げ日、販売店名が未記入の場合、お買い上げ明細が無い場合。

- 3.本保証書は日本国内使用においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

- 4.保証修理をご依頼いただく際は、販売店様へご連絡いただき、保証確認、お受付をお願いいたします。販売店様が移転された場合でも保証は引き続きお使いいただけます。詳しくは、移転された販売店様へご確認ください。

- 5.修理・検品をご依頼の際に発生する運送費用が高額になることがありますので、あらかじめ販売店様へご相談ください。

- 6.修理中の代替品、商品の貸し出し等は、いかなる場合においても行っておりません。

本保証書は、保証規定により無償修理をお約束するためのもので、これよりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。本製品の故障、または使用上生じたお客様の直接、間接の損害について、弊社は一切の責任を負いかねます。

保証修理・有償修理、いずれの場合も内容によってご対応に日数を要する場合があります。修理に要する日数によって生じる二次的損害につきましては、弊社は一切の責任を負いかねます。

● 修理対応をご依頼いただく際について

- 1.保証書に販売店様による年月日等の記入がない場合は無効となります。インターネット通信販売でのご購入等、記入ができない場合は、お買い上げ年月日を証明できる領収書等と一緒に保管してください。

なお、保証がお受けできるのはファーストオーナー様のみです。中古品、オークションやフリーマーケットサイト等での個人間でのご購入品であることが発覚した場合は、保証対象外となります。

- 2.保証書は再発行致しません。大切に保管してください。

- 3.保証書は原本のみ有効です。コピーは無効となります。

保証書

● 保証期間

お買い上げ日より1ヵ年です。

● 保証期間中の修理のご依頼について

販売店様へご連絡いただき、修理のご依頼をお願いいたします。ご依頼の際は本保証書のご提示をお願いいたします。

● 保証期間及び期間経過後の修理対応について

修理することによって性能が維持できる場合は、お見積り後に有料で修理をさせていただきます。ただし、補修用の部品等の入手が困難な場合は、修理を受理することができません。修理について事前に詳細を確認される際は、販売店または弊社カスタマーサポートまでお問い合わせください。

なお、保証期間経過後のお見積り及び修理は全て有償でのご対応となります。

● 修理期間について

修理する内容によってご対応期間が異なります。修理のご依頼の際に症状をお伝えいただき、おおよそのご対応期間についてご確認をお願いいたします。

| | |
|-----------------------------|-----|
| ふりがな | 男・女 |
| お名前 | 年齢 |
| ご住所(〒 -) | |
| 電 話 () - | |
| ご購入楽器店名(必ずお店のゴム印を頂いて下さい。) | |
| ご購入年月日 年 月 日 | |

販売元

KYORITSU CORPORATION

〒468-0002
愛知県名古屋市中区栄山1丁目813番地
カスタマーサポート
E-MAIL: support@kyoritsu-group.co.jp

onetone®

販売元

KYORITSU CORPORATION

〒468-0002

愛知県名古屋市天白区焼山1丁目813番地

カスタマーサポート

E-MAIL : support@kyoritsu-group.co.jp